

# 第1地域 RRFC 便り

## 8月号



2021年8月1日発行

### 「可能性を実践できる場」

#### 「年次寄付ゼロクラブゼロを 達成できました」

今期第1地域RRFC補佐(以後ARRFC)を拝命しています帯広北ロータリークラブ細川吉博と申します。財団の活動にご理解頂き、国内のクラブ全てが皆様のおかげで年次寄付ゼロクラブゼロを達成できましたこと、まずお礼申し上げます。これからはロータリアンの皆さんにその活動がわかりやすい財団になるよう心がけていきたいと思っています。コロナ禍は収まるどころか第5波の様相を呈しています。皆さんにとっても大変ご苦労されていることと拝察します。感染を抑えるためには人流の抑制とのことで、飲食特にアルコールを提供する店舗が制限されています。しかしこの政策はコロナの流行の抑制に効果はあると思えますが、それに関連する経済活動に大きな影響を及ぼしています。飲食店のみならず酒類や食料



細川 吉博 2021-22 ARRFC (第1地域) 帯広北ロータリークラブ

品を販売する業種や宿泊、観光、流通、さらには農林水産業などなど、いずれも業績が低迷しています。改めて世の中はほぼ全ての職種がそれぞれ大きな歯車としてお互いに関連して動いていると感じさせられます。翻って考えるに、私たちのロータリー活動も同じことが言えると思います。ロータリーの活動は私達の浄財が集まることによって大きな力となって働いています。それは私達の住んでいる街の環境の整備やイベントに使われ、多くの若者をも支え育てています。さらには世界規模で、飢餓や生命に関わる生活環境の改善などにも使われています。ポリオプラスもその一端です。私達一人一人の力が結果を示しているのです。しかし私たちにとっては寄付行為は不慣れかもしれません。せいぜい年間数回の神社などに参拝するときのお賽銭程度の感覚しか持っていない方が多いのではないのでしょうか。寄付は決して自己顕示欲でもなく、売名行為でもありません。それはロータリアンとして世界に貢献できる立場が得られた特権と考え、その与えられた名誉と責任に対して私たちは全うすべきです。京都駅の和食店で「三尺三寸箸」があります。店名の由来は、長い箸を持っていても、その箸で食べ物を自分の口に運ぶことはできない。長い箸を使って相手に届けることができれば、次は相手からその長い箸で食べ物が得られるという、仏教における奉仕の考えとのことでした。私たちが今までの努力で獲得したその長い箸を、相手に向けてあげたらきっと素晴らしい世の中になると思います。ロータリーは可能性を実践できる場です。

#### この号の内容

- 1 細川 吉博 ARRFC(第1地域)年次寄付ゼロクラブゼロを達成できました
- 2 第1地域5年連続でゼロクラブゼロ達成
- 3 ポリオプラス 補助金  
ロータリー平和フェロウシップ
- 4 大規模プログラム 補助金
- 5 ヨルダンで活動するRCとRAC  
ルワンダのGDPの教育予算の比率
- 6 リトアニアの医療従事者を励ますプロジェクト
- 7 子ども食堂と共に歩むロータリークラブ
- 8 PHS 認証式と入会式のご案内  
かき氷と子規の句

## 【第1地域5年連続でゼロクラブゼロ達成】



先日ロータリー財団から正式な 2020-21 年度の年次基金寄付について最終の結果が纏まり、第1地域の14地区の全てのクラブが年次基金寄付を実施された事の報告がありました。併せて日本3地域の全ての地区がこれを達成されたと報告がありここに皆様に深甚なる感謝と御礼を申し上げる次第です。

私は 2019 年 7 月に第1地域の RRFCC に就任いたしました。私の前任の池田徳博 RRFCC は、2014-15 年度のガバナー同期です。池田 RRFCC の3年間に引き続いてゼロクラブゼロを達成できたことは、池田 RRFCC のご指導の賜であったと思っております。(羽部記)

## 【ポリオプラス】

EVERY  
ROTARIAN  
EVERY YEAR

1985 年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) のパートナー団体との協力を開始した 1988 年には、125 カ国で 35 万人以上の発症が確認されていましたが、以来、約 30 億人の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は 99.9%減少しています。

2020 年現在、ロータリーはポリオ根絶活動に 20 億ドル以上の資金 (ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む) を投入しています。



## 【ポリオプラス 補助金】

ポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられ、予防接種キャンペーンとポリオウイルス伝染の監視活動を支援しています。ポリオプラス補助金は、ポリオプラス基金および DDF(地区財団活動資金)の寄贈によって調達されます。

提案書は主に、世界保健機関(WHO)や UNICEF(国連児童基金)など主な活動実施者が提出します。管理委員会が定例会合において、ポリオプラス補助金の申請を審査します。



## 【ポリオプラス ・ パートナー補助金】

高優先国のポリオプラス委員長により提出された、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援します。補助金の申請は、定期的に審査され、ポリオプラス基金から資金が提供されます。



### 【関連リソース】

- 「End Polio Now」ニュースレター:ポリオ根絶の取り組みに関する 最新情報とニュースを隔月で紹介。
- 「End Polio Now」ポスター :End Polio Now のロゴグラフィックを掲載。
- 「End Polio Now」ピン :End Polio Now のロゴが付いた襟ピン。
- アドボカシー用のちらし :ポリオを根絶する理由を紹介。endpolio.org/ja にこのほかの情報や資料が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

## 【ロータリー平和フェローシップ】

世界各地に現在 7 つあるロータリー平和センターでは、平和と開発の分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力 開発修了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェローシップ(奨学金)を提供しています。フェローシップは、授業料、入学費、食費と部屋代、往復交通費、インターンシップと実地研修の費用に充てられます。

その資金は、地区からの DDF 寄贈、冠名指定寄付、恒久基金、WF(国際財団活動資金)から支えられています。地区は、国際レベルでの選考に向け、7月1日までに、資格ある候補者を何名でもロータリー財団に推薦できます(申請のために DDF 配分や寄付を行う必要はありません)。この日までに地区が申請書の審査、面接、オンラインでの推薦提出を終えられるよう、候補者本人は 5月15日 までに地区へ申請を提出する必要があります。毎年、修士号プログラムで学ぶ 50 名、専門能力開発のための修了証取得コースで学ぶ 80 名までのフェローが選ばれ、管理委員会が承認した候補者には、11月15日 までに通知が行われます。



### 【関連リソース】

■「Peace in Action」ニュースレター:ロータリー平和フェロースhip に関する最新情報とニュースを隔月で紹介(英語のみ)。

■修了証取得プログラムのパスポートカード:修了証プログラムセンターに関する情報を記載。

■修士号プログラムのパスポートカード:修了証プログラムとセンターに関する情報を記載。

■ロータリー平和フェロースhipのプレゼンテーション資料:ロータリー平和センタープログラムの概要。

■平和推進地区になろう:地区が平和フェロースhipを支援する方法を説明した資料。

[rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowships](http://rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowships) からさらに多くの情報とリソースをご覧ください。

### 【大規模プログラム 補助金】

ロータリーの大規模プログラム補助金は、重点分野において成果を上げているロータリー奉仕プロジェクトの範囲、インパクト、持続可能性に基づいて授与されます。この補助金により、ロータリー会員は経験豊富なパートナー団体と協力し、広大な地域においてニーズのある大勢の人に恩恵をもたらす大規模で効果の高いプロジェクトを実施することができます。

ロータリー財団は、パートナー団体との強い協力の下でロータリークラブまたは地区が提唱するプログラムに対し、200万ドルの大規模プログラム補助金を毎年一口授与します。各補助金は、持続可能な変化を生むことを目的として、3~5年にわたるプログラムの拡大を支援します。

競争制プロセスでは、まず申請者がコンセプトノート(プログラムの大筋を示す文書)を提出し、その後、プログラムの詳細を説明した申請書を提出します。コンセプトノートには、証拠によって成果が実証され、主な関係者(ステークホルダー)との協議を通じて計画されたプログラムの概要を示します。これにより、プログラムの成功の可能性と持続可能性が高まります。申請段階では、インパクトを測定するためのモニタリング、評価、学習計画をプログラムに完全に組み込むべきです。

(重点分野の追加や詳細の変更があり、参照ガイドに変更箇所があり掲載しました。羽部記)※次回は補助金から掲載を予定しています。



## 【ヨルダンで活動する RC と RAC の総数は 21】



### 「アンマン・ヨルダン・リバー・ロータリークラブは美しい音楽を生み出しています」

National Music Conservancy のユースオーケストラを率いている同クラブ会員のラナ・リズカラさんは、ロータリーが後援するオーケストラのために才能のある若手音楽家を集めました。楽譜が読めず暗譜で演奏する音楽家たちに楽譜の読み方を教える特別クラスを実施しており、これで「キャリアの可能性が開けるかもしれない」とリズカラさんは言います。現時点では全員ローターアクターですが、今後は非会員もオーケストラに迎え入れていきたいとリズカラさんは考えています。2021 年月上旬にソーシャルディスタンスを守って練習が始まりました。西洋音楽とアラブ音楽の両方を扱い、「私たちが開催するあらゆるイベントや活動で音楽演奏を行い、外部に依頼した場合の出演料をカットするのがオーケストラの目標のひとつです」とリズカラさんは話します。

## 【2018 年におけるルワンダの GDP の教育予算の比率は 3%】



「SOS 子供の村」ルワンダ支局  
学費や制服代金を  
クラブが肩代わり



基本的教育と識字率向上

キエ・ローターアクトクラブは、子どもや生徒への支援に力を入れています。「SOS 子供の村」ルワンダ支局のためにTシャツ販売とチャリティー・ウォークで資金集めを行った同クラブは、公立学校の学費の支払いに困っている家庭があると耳にしました。ルワンダでは教育は無償ですが、それでも費用はかさみます。同クラブ会長のムサ・カチエエさんによると、書籍やペン、算数セット、通学カバンを地元学校1の生徒15人に提供し、学費や制服代金をクラブが肩代わりしました。クラブはまた、道路清掃や高齢者向けトイレ施設の建設などの小規模なプロジェクトも実施しています。

## 【リトアニアの医療従事者を励ますプロジェクト】

医療従事者にパンを届ける  
ギエドリュス・サルニウスさん



パンデミック対応で奔走する医療従事者を励ますために、ヴィリニウス・サン・クリストフォロ・ロータリークラブの会員が、ヴィリニウス市立病院の職員に「感謝の気持ちを伝え、できればもっと笑顔にしてあげられるように」と菓子パンなどを届けました。3月下旬まで10週にわたり、同クラブは毎週金曜日に600個のパン(825米ドル)を地元のパン屋に注文しました。「訪問することはできませんが、感謝の気持ちを伝えることはできます」とクラブ会員のギエドリュス・サルニウスさん。ただ、この「Smiles for Doctors(医師たちに笑顔を)」プロジェクトの記録を写真で残すのは難しかった、と言います。「写真を撮ろうとしても、パンはもう無くなってしまっていますから」

Take Action

## 【子ども食堂と共に歩むロータリークラブ】

寄稿者：藤野直子(名古屋名東ロータリークラブ会員)



【子ども食堂と共に】

皆さんは、「子ども食堂」をご存知ですか？

「夏休みに、一日の食事がバナナだけ」というお子さんがいることを知った東京都大田区の八百屋さんが、ご飯を食べさせてあげたことから「子ども食堂」は始まりました。それから 9 年、今では日本中に、約 5000 か所もの「子ども食堂」ができました。地域のボランティアグループなどが運営する子ども食堂では、無料または安い金額で食事を用意しています。本当に空腹なお子さんもいれば、わいわい楽しいから来るお子さんもいます。「こども食堂が、唯一の外食」というシングルマザーの親子も来ます。「一人で食べるご飯はつまらない」と言って、子ども食堂のボランティアをしてくれるおじいちゃんもいます。学校には足が向かない中学生がお子さんの遊び相手になってくれたり、大学生が宿題を教えたり、それぞれの思いやりと優しさが集まって“心休まる居場所”となっているのが「子ども食堂」なのです。(ロータリーボイスから転載しています。)

## 【PHS 認証式と入会式のご案内】

これで3年目のご案内になります。2020年の4月と2021年の4月の2回はコロナウイルス感染症拡大のために、泣く泣く中止の止むなきに至りました。ここに改めて「PHS ポールハリスソサエティーの認証式」のご案内を申し上げます。



日 時:2022年 4月23日(土)前夜祭 18時  
4月24日(日)認証式 11時

場 所:前夜祭 札幌ビール園(札幌市東区)  
認証式 プレミアホテル TSUBAKI

宿 泊:プレミアホテル TSUBAKI 札幌  
〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1  
TEL (011-821-1111) FAX (011-842-6654)

宿泊代:14,000円(一人朝食付き)

(詳細につきましては、次回以降のRRFC便りと別にご案内致します。羽部記)

## 【かき氷と子規の句】



正岡子規が明治26年に謳った句です。咯血して自身をホトギスになぞらえて子規と号したことは周知のことです。初めての咯血は明治21年8月鎌倉旅行中と記録にあります。翌明治22年4月に水戸に旅行にでて、5月に大咯血して医師から肺結核と診断され、子規はホトギスの句を作り、初めて子規の号を用いたと言われていました。当時の結核は不治の病と言われていたので、必然的に死を意識するようになったと想像します。病中とあるので病を発症して、病と向き合い多くの句を残していく彼の生き方を感じる一句です。その表現は人間の心の在り方を表すもののように思われます。「夏氷 はかなく たのむ 命哉」です。夏の氷は、直ぐに溶けて消えてしまうものです。まさに「はかない」生き物の命そのものと言わんばかりです。「たのむ」と続いています。この頼むは、頼まずにはおられないという切羽詰まった状況を言い表しているようです。私は個人的に「いちご氷」がすきでしたが、最近抹茶氷が大人の味に思えて今年も頂戴しました。少し氷を盛り過ぎてしまいました。もう少し丸く抑えるべきだったと反省しています。子規は体が熱ってきっと沢山食べたかっただのではと思い大盛りになりました。今年は暑い夏です。お大切にお過ごし願います。合掌(羽部記)